

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【素鷲小学校】

<第5学年：「わたしたちのふるさと 素鷲」>

素鷲の町にはどんな自慢があるのかについて調べる中、校区には和田重次郎（以下、重次郎）の像があることから、どんなことをした人なのか知りたいという課題をもって学習に取り組んだ。インターネットや副読本「ふるさと松山学」などを活用して調べていくうちに、重次郎について詳しい人から話を聞きたいという思いが膨らんだ。そこで地域に住む和田重次郎顕彰会の方に来校していただき、重次郎の生い立ちや功績について講演していただいた。



そして、重次郎が子どものころ素鷲地区で育ち、大人になってアメリカへ渡航し、アラスカの開拓に尽力したことなど、具体的な活動を教えていただいた。一人で渡米した重次郎の勇気や、母親を最後まで大切にしたことなど、児童にとって心に響く話だった。重次郎の生き様から『差別・困難に負けない強い気持ち』『立ち向かい挑戦することの尊さ』『家族や友達を大切にできる優しさ』を学ぶことができた。児童は、「自分たちの住む地域に、世界で活躍した人がいたことに驚いた。」「重次郎のように、家族や友達を大切にしたい。」「あきらめない気持ちが大切だと思った。」などの感想を聞くことができた。素鷲校区にあるオーロラ遊歩道にも目を向け、重次郎の顕彰碑や像があり、地域の人たちが重次郎のことを大切に思っていることも実感できた。

12月には地域の方と一緒にオーロラ遊歩道にチューリップを植えた。春にきれいな花が開くのを楽しみにしている。また、この学習を通して、自分たちの住む素鷲校区を大切にしていきたいという気持ちが育った。

